

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

志教育の視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input checked="" type="checkbox"/> はたす
活動名	インターンシップ
教科・領域等	学校設定科目・特別活動
活動学年等	1～2学年（4～1月）
ねらい	○職場訪問や見学, 体験学習を通して職業へのイメージを持たせ, 働くために必要な能力や態度を育てる。 ○自らの就業体験を振り返り, 達成できたことや今後の課題などを資料にまとめ, 体験報告会で人に伝えようとする姿勢を養う

◆ 実践の概要

1. 育てたいこと, 学ばせたいこと

就業体験や職場見学を通して, 自己肯定感を高め社会の一員としての自覚を持たせる。
インターンシップ体験報告会で, 自分の感想や反省を人に伝え, 発表できる力を養う。

2. 学習の様子

○就業体験（7月・11月）・企業訪問（11月）の実施



七ヶ宿町や仙南地域の事業所の協力をいただき, 1・2年生を対象に就業体験（インターンシップ）を実施した。学校設定科目「就業体験」受講者は7月と11月の2回, それ以外の生徒は11月の1回, 各2日間のインターンシップを体験した。

生徒は, この体験を通して地域の産業と文化を知ることができ, 働くために必要な知識や技術を学ぶことができた。各事業所で温かく丁寧に指導いただいたことで, 職場での適切なマナーを身に付け, 就業の意義ややりがいなどを十分に理解することができた。

○学校見学会（11月）、ものづくり企業見学会（2月）

1・2年生を対象に, 学校見学会および職場見学会を実施した。職場見学会では岩沼市にある日本製紙岩沼工場を訪問し, 紙を製造する工程や機械などを見学した。



学校見学会では宮城県農業大学校, 仙台総合ペット専門学校を見学した。生徒の関心領域の高い分野の学校を訪問し, カリキュラムや取得可能な資格, 進路の状況などの説明を聞いて理解を深めることができた。

○インターンシップ体験報告会

「就業体験」の履修者は9月と2月, その他の生徒は2月に報告会を実施した。生徒ひとりひとりが自らの体験を振り返り, 達成できたことや課題に感じたことなどを資料にまとめ, PowerPointを操作しながら発表した。事業所の担当者や大学の教授の前でしっかりと発表することができた。



発表した生徒は緊張していたが, 成果を堂々と発表し, 自己肯定感を高めることができた。

3. 実践を振り返って

本校では小中学校で不登校の状態にあったり, 人間関係につまずきを経験したりした生徒が少なくなく, 家や学校以外の場に出て人とかかわる経験をする機会が少ない。インターンシップでは, 地元企業や施設の深い理解や温かい励ましをいただき, 生徒は落ち着いて体験することができた。将来の進路選択について, 積極的に考えようとする姿勢が見られるようになった。

学校や職場の見学会では, ただの訪問に終わらないよう, 事前の調べ学習に取り組ませた。当日は積極的に質問をして理解を深めようとする様子が見られた。

4. 成果（○）と課題（●）

○就業体験や企業訪問は生徒にとって主体的な進路選択や職業観を培う動機付けとなった。

○企業や上級学校など, 高校以外の世界を知り, 視野を広げることができた。

●インターンシップで深めた経験を, 実際に「働く」意欲へとつなげるためには, さらに計画的で継続的な指導が必要だと思われる。